

にんじん

農薬取締法上「にんじん」は根を食用するものに限られるため、「にんじん」または「根菜類」、「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

葉を食用にする「にんじん（葉）」については、「にんじん（葉）」または「根菜類」「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。ただし、「にんじん（葉）」は平成31年4月に「せり科葉菜類」から「根菜類」に分類が変更されたが、既に「せり科葉菜類」に登録のある農薬は、「にんじん（葉）」（専用栽培）に使用可能である。

—— 発病・加害時期
 === 発病・加害最盛期

作型・病虫害名	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
夏まき							● は種	～	●				収穫
黒斑病									——	——	——		
黒葉枯病													
アブラムシ													
ヨトウムシ													
ハスモンヨトウ													
キアゲハ													

黒斑病

留意事項

- 1 夏～秋に降雨が続くと発生する。
- 2 収穫物に罹病根が混入すると、貯蔵中に接触伝染により蔓延する。

防除方法

- 1 排水を良好にする。
- 2 肥切れさせない。
- 3 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [ダコニールエース](#) <M5> 【750倍 7日／5回】

黒葉枯病

留意事項

- 1 高温乾燥時に発生しやすい。
- 2 QoI剤<11>、SDHI剤<7>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- 1 排水を良好にする。
- 2 収穫後は、被害茎葉を集めて、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 3 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [ダコニール1000](#) <M 5> 【1000倍 7日／5回】
 - ・ [ベルコート水和剤](#) <M 7> 【500～1000倍 14日／5回】
 - ・ [クプロシールド](#) <M 1> 【1000倍 発病前～発病初期／－】
- 4 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アフェットフロアブル](#) << 7 >> 【2000倍 7日／3回】
 - ・ [ロブラール水和剤](#) <2> 【1000～1500倍 14日／4回】
 - ・ [ファンタジスタ顆粒水和剤](#) << 1 1 >> 【3000倍 3日／3回】
 - ・ [アリエッティ水和剤](#) <P 7> 【800倍 7日／3回】

アブラムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) <4 A> 【2000倍 7日／2回】
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 <4 A> 【4000倍 前日／3回】
 - ・ [ベネビア0D](#) <2 8> 【2000倍 前日／3回】
 - ・ [エコピタ液剤](#) <－> 【野菜類（除いちご、トマト、ミニトマト、きゅうり、なす） 100倍 前日／－】

ヨトウムシ

留意事項

- 1 老齢幼虫への効果は劣るので、若齢期の防除に重点を置く。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 <1 3> 【2000倍 前日／2回】
 - ・ [フェニックス顆粒水和剤](#) <2 8> 【2000～4000倍 前日／2回】
 - ・ [カスケード乳剤](#) <1 5> 【4000倍 3日／2回】
 - ・ [BT剤](#) <1 1 A> （IX野菜類の病虫害防除 3野菜類 参照）

ハスモンヨトウ

留意事項

- 1 老齢幼虫への効果は劣るので、若齢期の防除に重点を置く。
- 2 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ディアナSC](#) < 5 > 【2500～5000倍 前日／2回】
 - ・ [プレオフロアブル](#) < UN > 【1000倍 前日／2回】
 - ・ [ベネビアOD](#) < 2 8 > 【4000倍 前日／3回】
 - ・ [アクセルフロアブル](#) < 2 2 B > 【1000倍 前日／3回】
 - ・ BT 剤 < 1 1 A > (IX野菜類の病虫害防除 3野菜類 参照)

キアゲハ

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 < 4 A > 【4000倍 前日／3回】
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 < 1 3 > 【2000倍 前日／2回】
 - ・ [ベネビアOD](#) < 2 8 > 【4000倍 前日／3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。